

# 令和7年度 第1回学校運営協議会 議事録

県立鶴見高等学校

実施日時	令和7年5月13日（火）10:00～12:00
出席者	学校運営協議会委員 山家 裕治 岡本 健司 石井 一登 長島 由佳 山本 公彦 田代 武 本校職員
議事 (質問・意見・要望・回答等)	学校運営協議会設立の確認 本日の予定について  1 校長あいさつ 今年度から新校長として地域に初めて関わらせていただく、運営委員のお力をお借りしてやってゆきたい。  2 委員の委嘱  3 会長・副会長選出 会長 長島 由佳 副会長 田代 武  4 自己紹介  5 学校運営について ・学習指導について 新学習指導要領が始まって4年。生徒の主体性、探究的な学習姿勢を育むことが主旨であり、本校もその点を意識して授業改善に取り組む。電子黒板の配置、一人一台端末等の環境整備は完了しており、ICT機器の積極的な活用を進める。  ・生徒指導、生徒支援について 生徒の生活習慣、規範意識を育成しながら、サポートドック等も活用し、プッシュ型のケアを積極的に行っていく。

- ・進路指導について

大学入試の変化に柔軟に対応する。生徒が人生全体をより広く長い視点で考えられるようにインターンシップ、各種ガイダンスを活用し情報提供を行う。

- ・地域等との協働

防災活動等を積極的に進め、地域の中の学校という意識を生徒にももってもらいたい。

学校の教育活動の情報発信を進める。事故不祥事防止を徹底する。

教員の働き方改革も推進する。電話対応時間を段階的に短縮し、17時までとするなど。

## 6 教育活動視察

体育祭予行を視察

## 7 今年度の学校運営協議会日程の確認、年間行事予定について

- ・地域とつながる協働部会 担当 長島 榊原。

- ・未来へとつながるキャリア部会。

- ・プール内敷地トイレは引き続き課題。

・部室棟の老朽化 県には申請済み。県内で建て替えている学校はないとのこと。本校100周年のところで対応が考えられる。

第二回開催について

10月最終週 授業研究週間をご覧いただき、各部会へ。

第三回開催について

3月 レシテーションコンテストをご覧いただく。

## 8 各グループリーダーより本年度の目標についての説明

学校運営

- ・学校運営協議会と連携し、地域、同窓会、保護者と協働した取り組みを進めていく。

- ・学校説明会やホームページの充実を図り、教育活動を広く発信する。

- ・説明会ではニーズをつかんだ説明を行う。

学習支援

- ・新学習指導要領の適切な運用に向けカリキュラムマネジメントに取り組む。

- ・定期考查・成績処理における事故防止。

## 教育開発

- ・総合的な探究の時間が体系的かつ継続的な内容になるよう検討、改善を続ける。
- ・指導と評価の一体化に向け組織的な授業改善を推進する。
- ・公務の DX 化と効率化を推進する。

## 進路支援

- ・インターンシップ、職業講話などを通して生徒が学びたい学問や職業について幅広く学べる機会を提供する。
- ・主体的な進路選択が可能になるように幅広く的確な情報を提供する。

## 生活指導

- ・日常の学校生活のルールについて指導。
- ・交通事故防止、マナー意識の向上に努める。自転車通学者は年度末には全員にヘルメットを着用させる。
- ・配慮を要する生徒の情報を共有し、児童相談所等外部とも連携しつつ支援体制について学校全体で共通認識を持って対応できるようにする。

## 生徒支援

- ・鶴見高校の伝統を踏まえつつ、新しいことを融合させ、発展させた行事を創り上げる。
- ・活動日数を整理し、学業との両立を図る中で部活動加入率 90%、中途退部者減少（10%以下）を実現する。

## その他

- ・不祥事ゼロプログラムを継続的、定期的に実施。
- ・セクハラ防止、準備室の整理整頓。
- ・ペーパーレス化の推進 PTA 総会は QR コードやフォームの利用を実施。
- ・残業 45 時間以下に 部活動後業務を行っている現状を今年度改善していきたい。

## 9 会長による議事確認

- ・「主体性」はここ数年間ずっと重点項目として取り上げている。
- ・3 年生ではどのような能力がついてきているのか示してほしい。
- ・働き方改革の結果、教育の質もあがることが望ましい。ひたすら頑張ってしまうのが教員でもあるので有意義な余暇の使い方など、意識改革をしていってほしい。
- ・ヘルメットは値段もさまざま。学校での貸出も検討しても良いのでは。
- ・スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーがよく利用されているのはよいが、予約でいっぱいなのであれば手立てを考える必要がある。

- ・昨年度の部活動加入率、わかれば今年度の加入率について。  
→昨年度は全体で6割程度、今年度一年生は加入率が高くない。
- ・加入率をあげるのには手立てが必要。もう少し緩やかな活動の部活があってもよいのでは。部活動は中学校では縮小傾向にある。鶴見には防波堤になってもらいたい。
- ・教員はAED講習を行っているが、生徒には行わないのか。  
→保健の授業の中で実施している。
- ・かつて文化祭でフクダ電子の担当を呼んで、AED講習を実施していた。

## 10 閉会